

令和4年度第1回青梅市美術館運営委員会会議録

令和4年4月21日
教育委員会会議室
会議時間 14:00～15:40
出席者 委員6名、教育長
教育部長、事務局4名

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 報告事項

(1) 令和3年度事業結果について(資料1) 事務局から説明 〈了承〉

ア 展示事業

イ 普及事業

ウ 市民ギャラリー使用状況

エ 入館者数

オ 収蔵資料

カ 広報、広告

キ 施設整備等

(2) アンケート結果について(資料2) 事務局から説明 〈了承〉

(3) 令和4年度事業予定について(資料3) 事務局から説明 〈了承〉

(4) 所蔵作品写真原版作製等に伴う臨時休館について(資料4)
事務局から説明 〈了承〉

(5) 館蔵品絵はがきの単価改定について

令和4年4月1日から販売単価を現在1枚50円(税込)のところ、100円(税込)に変更する。 事務局から説明 〈了承〉

(6) アートによるまちづくり推進事業について(資料5)
事務局から説明 〈了承〉

(7) 美術館等複合化の検討状況について(資料6)
事務局から説明 〈了承〉

(8) その他

令和3年10月19日に発生した美術館観覧料、書籍販売収入およ

びつり 銭留置金の忘失事件について 事務局から説明

5 その他

次回委員会開催日程調整

6 閉 会

〔主な質疑・応答・意見（報告事項・協議事項について）〕

○令和3年度事業結果とアンケート結果について

（委員）コロナ禍での限られた中で色々な企画をしたことがわかる。今後もしばらくはこの状況が続くそうだが、美術館は開いても安全と思っているので、令和4年度も楽しい企画を実施できると良い。

（委員）アンケートは回答数が少ない。書きたくなるような方法を考えて、答えていただく工夫も必要ではないか。

（委員）アンケートとしては確かに参考になったと思うが、置くだけでなく、知りたいことや役に立てたいことが質問項目にないといけない。期待されていること、認知経路など、積極的にアンケートをとるようにすると、精度が上がっていいアンケートが取れるのではないか。

（委員）アートビューイング西多摩2021について説明をして頂きたい。また、美術館と実行委員会の関係性や予算配分はどうなっているか。

（事務局）アートビューイング西多摩は、美術館と実行委員会の共催で2019年から隔年で開催している。

実行委員会は参加作家との窓口になり、美術館と協議しながら展覧会を一緒に開催する立場である。

美術館はチラシの印刷費用やその配布費用、関連事業の実技講座の講師報償費や材料費を負担している。実行委員会にはチラシのデザインや作品の撮影、記録集の発行などは負担して頂いている。

（委員）アートビューイング西多摩2021の作品は、作家の意図がよく分からなかった。

（委員）表現方法として、いろいろな人が主張できるようになると良い。

（事務局）今回は展示する前に美術館だけでなく、実行委員会の中でも提出された展示プランの内容をチェックし、作品のコンセプトなどの聞き取りをしたうえで判断するべきだったと考えている。

（委員）令和2年度から延期になっていた「五百城文哉展」はできてよか

った。マンパワーや予算が足りないのであれば、地域の団体と共催していくのもよいのではないか。

(委員) 市民ギャラリーの稼働が開館日が156日のうち60日なのは、何か理由があるのか。ギャラリーの利用により、美術館を楽しんでいただく機会につながっていくと思う。

(事務局) 市民ギャラリーは基本的に開館日に貸出している。

また、ギャラリースペースの3分の1をコロナ対策のため撤去した備品等を入れていて使えない状態である。

以前、夏休み期間中に行っていた「はたらく消防の写生会 入賞作品の展示」がなくなったこと、継続利用していた団体が活動をやめたり、たまぐーセンターなど他の新しい施設を利用するようになったことなどが稼働率を下げていると考えられる。

(委員) 喫茶室はどう稼働しているのか。専門業者がやっているのか。

(事務局) 美術館の展覧会会期中に開室している。個人で経営している。

○令和4年度の事業予定について

(委員) 秋に開催する特別展「原田泰治展」は人気が出るのではないか。

館蔵企画展「共通点を探せ！！あなたのお気に入りは何？」は子供向けにワークシート形式で探して歩くような企画ができると良い。

(委員) 年間入場者数目標は例年並みか。

(事務局) 入場者を1部屋あたり20名以下として、コロナの感染対策を引き続き行いながら、例年の8割くらいが入ればよいと考えている。まだ団体は受け入れられないと考えている。

(委員) 人数管理は部屋ごとにやっていくのは大事なことを考える。

(委員) 小学3年生の社会科見学に美術館も選択肢の一つとして、展示を見に行くようなプログラムを計画してもいいと思う。

○所蔵作品写真原版作製等に伴う臨時休館について

(委員) 夏休み期間は休館しているのか。

(事務局) 夏休み期間は空調設備の不調等により開館していない。

(委員) 子供達が来れる夏休みは、やはり開館してほしい。空調設備を早期に改善してほしい。

(委員) 夏休みの課題などで美術館を使ってもらうのがいい。

(委員) 施設改修をして、1年中楽しめる美術館になってほしい。

○館蔵品絵はがきの単価改定について

—質疑・意見等なし—

○アートによるまちづくり推進事業について

(委員) 今年は準備の年ということか。ビエンナーレOMEで青梅市が賞を出しているの、作家との結びつきの機会をとらえて、関係性を持つことで、長い目で見たら財産になると思う。

(委員) ずいぶん前に終わっている企画を使っているが、どういう趣旨か。

(事務局) 公募展が終了して5年以上が経っているが、入選作家とつながりを持ち、美術館として支援していけたらと考えている。

(委員) ローコストでハイパフォーマンスなものを作らないといけないので、新しい展開ができるといい。

○美術館と郷土博物館の複合化の検討状況について

(委員) 老朽化している設備を少しでも改善してほしい。改修内容については、運営委員会としても議論していきたい。

(委員) 他の美術館や博物館も老朽化した後、リニューアルして素敵になっている。方法は色々あると思うが、美術館の活性化の方向に進むといい。

○その他

事務局から現金の亡失事件について説明

—質疑・意見等なし—

閉会